



2010～2011年度

# 中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度  
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、  
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長  
レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 永松 浩 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

## 第1016回例会 平成23年3月10日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「決算余話」 浜田税理士

◎次回例会プログラム 会員発表 地区大会報告 会長・幹事



### 前回(1015回例会)の記録

平成23年3月3日(木)

#### ■ゲスト

なし

#### ■ビジター

山本洋一郎君(中津RC)

#### ■出席報告

会 員 数 26名  
免 除 者 数 1名  
対 象 者 数 25名  
本日出席者 20名  
欠 席 者 数 5名  
出 席 率 80.00%

#### ■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 7名  
メイクアップ 2名  
欠 席 者 5名  
修正出席率 72.00%→ **80.00%**

#### ●メイクアップ

辛嶋(宇佐2001RC)、二反田(中津RC)

#### ●欠席者

梶屋、土居、小野、矢頭、出納

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 会長 青木秀暢

本日は皆様大変迷惑をお掛けしていた年次総会をようやく開く事ができます。通常、12月第2週に開催されるものなのですが、長引いてしまいました。指名委員会としては最善を尽くしていたのですが、このような結果になってしまいました。クラブ総会は、クラブにとっては最も大事な例会であります。その証拠に、クラブ細則運用内規でも一番最初に書かれていて「第1条、第1節」の項目に挙げられています。事はともあれ本日は総会を3ヶ月間も遅れですがよろしくお願いします。選挙管理委員を若松さん、岩淵さんに選任をお願いしています、どうかよろしくお願いします。



◎幹事報告 幹事 土居孝信

●例会変更 大分、大分東、大分南、大分城西、湯布院(各RC)

●週報受理 宇佐2001、仙台平成、杵築(各RC)

●週報御礼 森田パストガバナー

●報告事項

・ロータリーの友3月号



- ・大分中央RC「30周年式典」お礼状
- ・ガバナー事務局「地区協議会開催」ご案内
- ・中津市市民環境部 平成23年度「人権研修会学習会」申し込み
- ・本例会終了後、3月度理事会、次期理事会開催
- 地区大会参加について 3月12日 11:00am 中津駅南口集合

◎例会の食事メニュー

天婦羅御膳



◎委員会報告

・大和クラブ広報委員長

表紙は秋田の岩木山だそうです。松村和子の「帰ってこいよ」の「おいわき山」は岩木山の敬称だそうです。今回からプロの写真家が撮影した表紙だそうです。

横組みは、RI会長メッセージ 簡潔であれ。RIは2010-13年度RI長期計画に基づき、(1) クラブのサポートと強化、(2) 人

「地域を育み、大陸をつなぐ」 “BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS”



2010～2011年度

# 中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei

2010～2011年度  
国際ロータリー・テーマ地域を育み、  
大陸をつなぐ

道的奉仕の重点化と増加、(3) 公共イメージと認知度の向上を優先的に実行する。ロータリーの成功は強いクラブの簡潔な体系、意義ある奉仕プロジェクト、それに好意的な公共イメージの向上に基づいている。3月は識字率向上月間という事で特集が組まれています。

RI会長カルヤン・バネルジー氏が次の年度の新しいテーマを発表されています。「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。インド最大の農業メーカー、United Phosphorus Limited 社の重役であり、同社のバングラデシュ支社の会長らしいです。以上です。

## ◎ニコニコボックス 担当：ロータリー財団委員会

### ○加来会員

2/27(日) 別府ビーコンプラザで、大分県歯科医師会主催「市民公開講座」が開かれました。私の任期最後の事業を成功裏に終える事が出来ました。

### ○青木会長

本日の例会で、なんとか総会を開催できることとなりました。ありがとうございます。

### ○土居幹事

本クラブ次年度の体制が整いつつありますので、喜びのニコニコをいたします。

### ○梶屋会員

ニコニコ、どうもありがとうございました。

## ◎次年度理事選任

### ・大和会員

指名委員の私が責任を取って理事になるという結果で、ミイラ取りがミイラになった心境です。誰もが理事になってもらえるようなクラブ運営をしたいと思います。宜しくお願いします。

### ・川崎会員

ご信任ありがとうございます。解らないことがまだ多いと思いますが、よろしく願いいたします。

### ・長野(定)会員

ご信任ありがとうございます。私には荷が重いような気がしますが、よろしく願いいたします。

## ◎新入会員卓話

永松 浩会員



2011年度の大分県経済見通し

回復の足取りは重いが、2年連続のプラス成長  
～生産活動や設備投資、住宅投資が持ち直し～

### 1. 生産活動

- (1) 2010年度の県内大手製造業の状況。
- (2) 2011年度上期…輸出減速、政策効果の反動等から一進一退の動き。大手製造業は国内主力工場としての位置付けから生産能力に近い水準での生産が続く見通し。
- (3) 2011年度下期…新興国をはじめとする堅調な海外景気や輸送機械工業等の九州地区への生産集約のプラス材料が加わり生産活動の持ち直しの動きが広がる。
- (4) 2011年度の鉱工業生産指数は前年度比1.0%増となる見通し。

### 2. 個人消費

- (1) 雇用・所得環境の下げ止まりや完全デジ化前の駆け込み需要、政府の住宅取得支援策の継続に伴う住宅関連消費の高まり等が期待される。
- (2) 節約疲れ等からこれまで抑制気味であったサービス消費にも動きがでてくる。
- (3) 但し、節約・低価格志向というトレンドに大きな変化はみ

られず、雇用・所得環境の大幅な改善は見込みにくい。

- (4) 2011年度の個人消費は前年度比0.1%増となる見通し。

### 3. 住宅投資

- (1) 2011年度は、2010年度に引き続き住宅版エコポイント制度やローン金利引下げ措置、住宅ローン減税等住宅取得支援策が継続。これら政策効果による住宅取得意欲の下支えにより、新規物件供給にも緩やかながら持ち直しの動きが広がる見込み。

- (2) 2011年度の住宅投資は、前年度比6.2%増となる見通し。

### 4. 設備投資

- (1) 日田キャノンマテリアルの工場建設といった先送り案件が再開される等、大手を中心に設備投資は前年を上回る見込み。

- (2) 非製造業では、雇用・所得環境の下げ止まりから、卸・小売業を中心に設備投資意欲が改善し増加する見込み。

- (3) 2011年度の設備投資は、前年度比1.1%増となる見通し。

### 5. 公共投資

- (1) 2011年度は、年度当初には補正予算の繰越による増加あり。しかし、統一地方選挙の影響から予算編成の遅れが懸念され、上期は低調な推移が予想される。

- (2) 下期は当年度工事発注が本格化し、従来の道路補修工事や公的施設的环境、耐震工事、漁礁等の農林水産業振興関連に加え、教育医療福祉分野の充実を目的とする「新しい公共」事業への本格的な取り組みが期待される。

- (3) しかし、2011年度の公共事業費予算案をみると、国は前年度比5.1%減と縮減傾向に変化はみられず、県も継続事業中心の骨格予算編成ではあるが前年度比縮減となっている。
- (4) 2011年度の公共投資は、前年度比5.2%減となる見通し。

### 6. 観光動向

- (1) 2011年度は“つくみイルカ島”のオープンや中国クルーズ船の別府国際観光港への寄港等から観光浮揚が期待される。しかし、2011年3月12日の九州新幹線鹿児島ルートとの全線開通により西九州で観光客の増加が期待できるのとは逆に、大分県ではその影響が懸念される。

- (2) 2011年度も観光動向は厳しい状況が続く見通し。

### 7. 労働需給

- (1) 2011年度は、企業の採用抑制姿勢が継続し、若年層を中心に厳しい状況が続き、年度当初は一進一退の状況が続く見込み。

- (2) しかし、生産活動の持ち直しや企業収益の改善、日田キャノンマテリアルの求人が期待されること等を背景に、製造業で求人が増加し、雇用情勢は緩やかながら持ち直していく見込み。

- (3) 2011年度の有効求人倍率は0.6倍台から0.7倍台で推移する見通し。

### 8. 企業倒産状況

- (1) 2011年度は、中小企業金融円滑化法の延長や雇用調整助成金といった支援策が引き続くため、急激な倒産件数の増加は考えにくく、年度前半は小康状態が続く。

- (2) しかし、年度後半は次第に支援策の効果が薄れてくるため、中小・零細企業を中心に増加基調で推移する見込み。

- (3) 2011年度の企業倒産は件数、負債総額ともに前年度を上回る見通し。

### 9. まとめ

2011年度の大分県経済は、生産活動や設備投資、住宅投資の持ち直し等から全体的に景気が上向き、2年連続のプラス成長となる。しかし、回復の足取りは重く、業種や規模により明暗がみられ、本格的な景気回復には至らない。県内経済はもたつきながらも持ち直しの動きを続けるものと思われる。

以上